

LABELING GUIDELINE_2023

技能五輪全国大会のラベル取付けは、本ガイドラインによる。

【基本的考え方】

以下にラベルを取付けなければならない。

（ケーブル）

- ・ ケーブル端
- ・ ケーブル中間
- ・ 場所が異なる部分の入出部

（コネクタ）

- ・ コネクタ部

（パネル・箱・T0）

- ・ 前面
- ・ 前面（ポート No.）

- ※ 配線図・接続表などにより、その一部を省略することができる場合がある。
- ※ 記入の方法は、直接記入、フラグ付き結束バンド使用、ラベルマシン使用などが考えられる。
- ※ ラベルの可読性は相対評価点の対象となる。

【識別の方法】

メタルケーブル

[1] ケーブル端

以下のように識別する。原則としてフラグ付き結束バンドを使用する。

[（始端側：Source）始端パネル＋ポート No. / （行先端側：Destination）行先端パネル＋行先ポート No.]

- ※ ケーブルにケーブル名称が取り付けられている場合、または、配線図・施工票がある場合は、「（始端側）行先端パネル＋ポート No」は、簡易的に「ケーブル No.」で表記できる。

基本版： [1A-1/2A-1] 簡易版： [1/2A-1]

※基本版の表記とした場合は、相対評価点の対象となる。

※課題により別に指示する場合がある。

[2] ケーブル（中間）

以下のように識別する。ケーブル外径が概ね 10mm 以上の場合や複数本束ねている場合は、原則としてマジックテープおよびフラグ付き結束バンド(図 1(b))を使用する。外径が概ね 10mm 未満の場合や 1 本のみ配線する場合は、フラグ付き結束バンドのみで使用できる。

【ケーブル名称】

- ※ 取付け場所は、ケーブル両端（ケーブルがまとめられた箇所、ケーブルが分かれる箇所）、中間の 3 ケ

所とする。ただし、ケーブル物理長が 5m 以下の場合は、中間部分を省略できる。

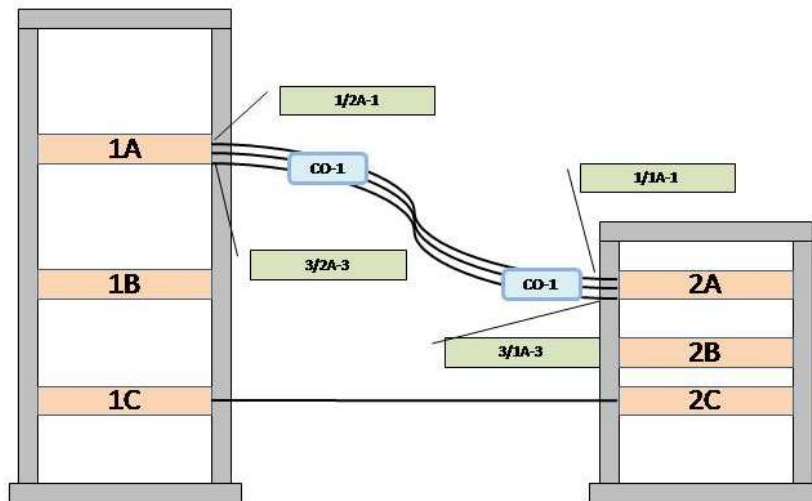
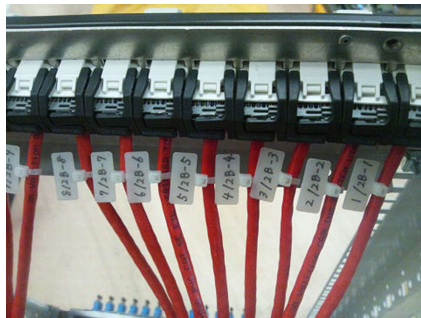


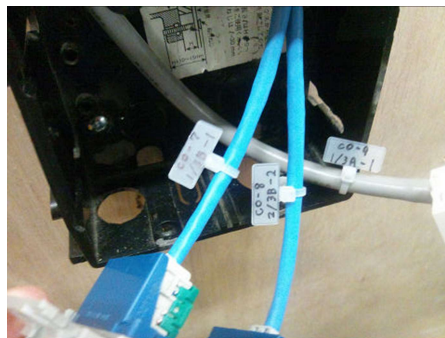
図 1 取り付け例



(a) ケーブル端



(b) ケーブル中間



(c) ボックス内のケーブルへのラベル 例 : [A/ 3C-1]

図 2 ケーブルラベル

[3] 場所が異なる部分の入出部

ダクト、ケーブルトレイなどの入出力部にはラベルを取り付け識別する。

モジュラコネクタ

ケーブル端にラベルがある場合には、モジュラコネクタへのラベル取付けは必要ない。

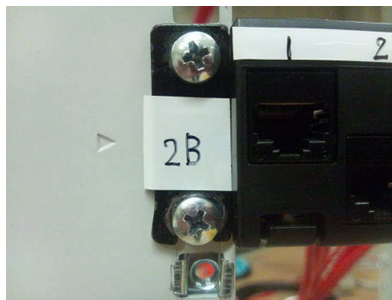
パネル・箱・TO

[1] 前面（全体）

以下のように識別する。前面の見える位置にラベルを取付ける。テープ等を使用する。

※取り付けの綺麗さは相対評価点の対象となる。

[名称]



(a) パッチパネル



(c) TO

図 5 名称

[2] 前面（ポート No.）

(a) パッチパネルの場合

ポート No. を記載する。黒のパッチパネルには、白テープを張り、その上にペン等で記載する。ポート No. を記載する場所がある場合には、そこに記載する。製品にポート No. が記載されている場合は、改めて記載する必要はない。

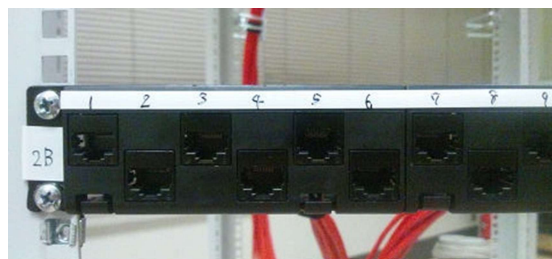


図 6 パッチパネルへのポート No. 記載

(b) T0 の場合

ポート No.を図 7 に従い、記載する。ただし、配置図等が別にある場合には省略できる。

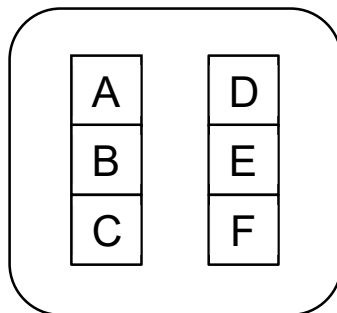


図 7 フェースプレートのポート No.位置

パッチコード

配線図・接続表がある場合、ラベルは省略できる。ただし、省略した場合は、配線図・接続表にパッチコード接続状態も記載しなければならない（パッチコード管理表がある場合は、それに記載する）。